



本年もよろしくお願い申し上げます

それいゆ 広報

Vol.129

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- Dr. Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ
TEL0577-37-5666
- りあん・ド・それいゆ
TEL0577-32-8166

令和三年元旦

新年明けましておめでとうござい
ます。昨年は私どもの施設をご利用いた
だきまして心より御礼申し上げます。今
年もよろしくお願いいたします。さらに今
年一年皆さまに福多きことがありますよ
う心よりお祈り申し上げます。近年は温
暖化現象のため雪の少ない冬が続いてい
ましたが久しぶりに雪の正月です。除雪
作業は大変ですが雪には特別の情緒があ
ります。

昨年春からコロナ感染症が世界中を席
捲しています。地球の隅々余すところな
く浸透しています。今まで感染者ゼロで
あった高山にもじわじわとコロナ感染者
が増えてきました。現在のところいつ頃
この感染症が終息するのか予測不可能で
す。ワクチンは開発されましたがその効
果や副作用に関しては十分なこととは分
かっていません。日本においても二月下旬
ころから一部の人に接種が始まりそうで

す。治療ができるまでにはまだ相当の
時間が必要だろうと思います。コロナに
感染しないためには現在では人為的にコロ
ナウイルスに接近しないという予防策し
かありません。

人と人の交流や接触が感染拡大の大き
な要因となるので今まで何気なく行われ
ていた日常生活に厳しい制限が必要にな
りました。コロナ感染者が日に日に増加
している現状では今年は今まで以上の
規制が必要になるだろうと思われます。

私どもの施設においても国策に従って施
設利用者あるいは御家族の皆さまに對し
てその時その時の感染者発生状況に応じ
た対応をさせていただくことになりま
す。今年はコロナ感染予防による命の危
険を避けることに細心の配慮をしていく
つもりであります。感染予防のためにワ
クチン接種が可能となるまでの辛抱で
す。お互いに助け合い支え合いながら今
年一年頑張りましょう。

医療法人同仁会
理事長

折茂 謙一

新年のご挨拶

介護老人保健施設それいゆ

リハビリ室 主任理学療法士 宇田 輝彦

新春の候、コロナ禍に耐える皆様に、益々のご健勝のことと思います。

さて、私は当施設に入社して十八年目を迎え、たくさんの先輩方にご指導いただき、今では施設の職員の方に指導もさせていただく立場になりました。

今回のテーマ『次につなげるために、今取り組んでいること』と聞いて、自分の中で大切にしていることと浮かんだことが、『自分のせいにする』ことです。

『自分のせいにする』と聞くと、ネガティブな印象の言葉に聞こえますが、次につなげるためにはまず自分の悪いところを認めなければ始まりません。もしここで自分は悪くない、仕方がなかった、と考えてしまふとあきらめが生まれ、物事の解決がそこで断念されてしまいます。

きっかけはどうであれ、解決策を考える火種がなければ何事も前には進みません。

リハビリテーションとしても、問題点を見つけ、何故かを考え、解決方法を見つけ、やってみる。

日常の中でも、このサイクルがとても重要なのですが、きっかけである問題点を見つける作業に、『自分のせいにする』ことが重要なのです。誰かのミスであっても、自分のせいにすることで、自分の働きかけがあれば改善するかも…ととらえるようになります。自分の選択肢も増えて、成長できる糧になります。自分の成長が他の誰かの助けになると思いますが、今後も前向きに物事を考え続けようと思います。



大坪PT 宇田PT 古田PT 大岡OT
井之口ST 小林OT

♥ 1月から井之口言語視覚士が復職しました



通所リハビリテーション

介護長 白川 浩代

新年あけましておめでとございます。本年もよろしくお願いいたします。昨年の今頃にはこのような大変な年になるうとは思いませんでした。変わらぬ日常がこんなにも幸せなことであることを実感することができた二〇二〇年でもありました。

世の中大変ですが、日々の中に大きな変化があると誰しも戸惑ってしまいます。大病をしたり大きな怪我をしてしまったり。その先にあるのが私たち通所リハビリではないかと思えます。新規ご利用者様の大半は退院後に利用開始となります。今まで元気で暮らしてきたのにもかかわらず、人の手を借りないとお風呂に入れない。車イスを使用しないと移動もできない。「こんなはずじゃなかった」という言葉も耳にします。昨日までは自分のことは自分で出来ていたのに情けない。そんな気持ちに寄り添って、ひとつでも出来ることが増えるように、心からの笑顔が取り戻せるように支援させていただきたいと思えます。

私たちはケアプランに基づいた『計画書』により支援を行います。三か月間どのような経過されたのか、体の変化はどんな風だったのかを『評価書』にまとめます。そして次の三か月に繋げる為、新しい計画書を作成します。昨年その『評価書』をより解りやすく、より伝わりやすい様式にしました。「それいゆのデイに通って良かった」と言って頂けるよう、今年もスタッフ一同「笑顔」と「元気」で寄り添います。



12月はクリスマス月間

年末時記



年末恒例餅つき大会

永年勤続表彰

勤続20年並びに10年を迎えた職員の特別表彰が、1月4日老健それいゆにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。心よりお祝い申し上げます。



勤続二十年

ヘルパーステーションそれいゆ
介護老人保健施設それいゆ

大 洞 里 奈
中 屋 寿 香 子

勤続十年

デイサービスセンターれざみ
ヘルパーステーションそれいゆ
介護老人保健施設それいゆ
ケアプランセンターそれいゆ

八 賀 薫
小 倉 麻 紀
塩 川 英 生
鮎 川 宏 子

りあん・ど・それいゆ

看護師 平田 澄美子

日頃はりあん・ど・それいゆをご利用いただきありがとうございます。住み慣れた自宅や地域の中でご家族やなじみの方々と共に最期まで『その人らしい人生を送りたい』と望む利用者様にとって新型コロナウイルス感染症はあたり前の生活様式を変え、人間関係さえ希薄にしようとしています。スタッフ一同、元気で来所される利用者様の姿にほっとする毎日です。

そんな中でりあん・どでは、毎朝新型コロナウイルス感染症を話題に取り上げ、「自分たちにはできることは何なのか？」話し合いを続けています。毎日の感染状況を伝え「よく食べ、よく出し、よく眠る、よく動く」を合言葉にご自身でも体調を整えていただけるよう努めています。手洗い・うがい・マスクの着用、体調がすぐれないとき申し出やすい環境を整える、定期的な換気や消毒、室温・湿度の調整等、「皆が感染しない、させない」よう努めています。



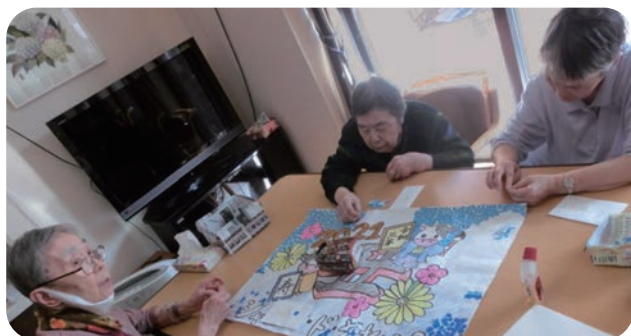
多様性のあるサービス提供の為に

新春のお慶びを申し上げます。いつも『シャロン・ド・それいゆ』を御利用頂き有難うございます。昨年中はコロナ感染に不安な毎日を送られたのではないのでしょうか？小規模多機能型居宅介護というサービスを提供している施設として、多様な介護の提供により安心した在宅生活が送れるようにいつも心掛けております。今後、より良いサービス提供の為に、利用者様が不安なく過ごしていただく為に、職員が連携を取りながら必要なサービス提供が迅速に出来るよう常に努力しております。

個々の利用者様に寄り添った介護の提供のため、定期的に会議、研修を実施しておりますが、さらにWeb会議も含め少しでも職員が会議に参加しやすい環境の整備に努め、常に適切な対応ができるように努めていきたいと思っております。

在宅での介護に困った時、安心して相談が出来る事業所を目標にして、これからも質の向上に努めてまいります。

今後とも、ご指導ご支援よろしくお願いたします。



シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功

ケアプランセンターそれいゆ

管理者 寺田 歩美

日頃はケアプランセンターそれいゆの事業運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、国民の生活が変容する事となりました。有効なワクチン開発まではウイルスと共存していく「新しい日常」を生きてはなりません。

生活を支える介護は『感染拡大防止』と『支援が必要な方々の保護』という両面を調整していく必要があります。ケアマネジャーとしても通所系・入所系サービスが休業となった場合を想定し、訪問看護や訪問介護など代替サービスを検討し、十分な感染防止対策を前提としながら必要なサービス提供が行われるよう調整を行っていかねばなりません。何かしらの介助が必要な状態だからこそその要介護者であり、支援を必要としているからこそサービスを受けているのですから…。

ケアマネジャーとしても感染対策を行い、訪問時間の短縮や電話等での聞き取りへの変更など工夫をする事で、「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」を基本にしながらも、必要のある方々への支援を続けていきます。今後は「非日常」を想定した生活状況や家族背景等の聞き取りを行いながら、在宅での必要なサービスの確保に努めていきたいと思っています。ご理解とご協力をお願い致します。



それいゆ訪問看護ステーション

看護師 山口 恵佐美



新年あけましておめでとございます。

日頃はそれいゆ訪問看護ステーションをご利用していただきありがとうございます。

「看護師さんと話す
と元気をもらえる」
訪問看護の仕事に
携わらせていただき、

多くの利用者様の言葉から元気をもらっています。言葉の持つ力にどれだけ励まされたかわかりません。言葉から共感を得たり、元気をもらったり、思いやりや優しさを感じたり生きる希望にもなり、言葉がはなつ影響力を感じています。今私が気を付けている事は自分の言葉で人を傷つけたり嫌な思いをしないよう相手の立場になって気持ちを考えていくことです。それができればおのずと言葉が力となり相手に伝わるのでないかと思ひます。

住み慣れた自宅で生活を送ることは安心感もありますが、不安なことも多いと思います。私たちの言葉かけで不安な気持ちや少しでもほっとできるよう利用者様と共に寄り添っていききたいと思います。今年もよろしくお祈りします。



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 大洞 里奈

謹んで初春のお慶びを申し上げます。旧年中は、利用者様、ご家族様、事業所様をはじめ皆様からのご利用いただきまして、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

ヘルパーステーションそれいゆでは、現在正職四名登録ヘルパー二名で自宅にて生活されている方のお家へ訪問させて頂き、様々なケアを行っております。昨年度高山市にも新型コロナウイルスの感染がみうけられました。ヘルパーが訪問する事に躊躇される方もいらっしゃると思います。外から入ってくる為当然の事です。その為、不安のないよう「訪問前後の手洗い・手指の消毒・検温・お互いにマスクの装着」を実施し、さらに換気を行い「長時間の密接を避け「うつらない・うつさない・拡めない」を心に置き、



今後も感染予防対策を行っていき、明日へつながる利用者様・ご家族様の笑顔をお守りいたします。



本年もより一層のサービス向上を目指し、最大限の努力をいたします。どうぞ昨年同様によりしくお願いいたします。

Dr. Ohsaiego Bio-Mex

施設長 折茂 佑子

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響の中、皆様より沢山のご支援協力賜り厚く御礼申し上げます。

新しい生活様式への対応の中、施設全体の行事は中止となり、職員も標準予防策を徹底しながら、ご入居者様には、ビオメゾン内だけで少人数でもできる行事を企画し、少しでも季節や憩いを感じ楽しんでいただけるよう工夫しております。ご入居者様のご家族の代わりとはなれませんが毎日顔なじみの職員がいることで、少しでも安心して穏やかに過ごしていただければと願っております。

正しい情報と知識に基づいた、感染対策を徹底し、差別やハラスメントを防ぎ思いやりと感謝の心をもってご入居者様・職員を守り新しい時代に適応できる施設を目指し職員一丸となって努力してまいります。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



みんなで新春をお祝いします

デイサービスセンターれざみ

管理者 八賀 薫

新年あけましておめでとうございます。

昨年中はデイサービスセンターれざみをご利用いただきありがとうございました。

昨年はコロナウイルスに翻弄され続けた一年でした。どんな感染防止策を講じていても、これでいい、これで終わり、ではない為安心して来ませんし利用者様にも協力頂かねばなりません。特に感染防止策の一環として本人様、家族様ともに飛沫圏外を出入りされた場合にはこちらからお休みをお願いした事もあり私達も心苦しい思いをしました。ですが、どんな様も私達の感染防止策をご理解下さり快く聞き入れ協力して下さいました。それは、ただコロナウイルスが怖いからと言うだけではなく、利用者様同士がお互いを思いやるお気持ちから協力して下さいたのではないのでしょうか。最近では利用者様の暮らしぶりもお一人様世帯、ご夫婦のみ、あるいは家族様と同居しておられても日中は独居という様に、高齢者様のみの過ごされている方が増えている様に感じます。そんな中でデイれざみを通じて馴染みになった方々や、共に過ごす時間を大切に思っ下さる事が一番の感染防止になっている様に思います。

現在もコロナウイルスと共存する中で利用者様の生活にも様々な影を落としています。外出の機会が減り運動不足になつたり、遠方の家族にも会えない寂しさを抱え塞いでしまわれる方もみえました。私達はデイれざみに来て頂ける事だけにとらわれず、利用者様の自宅での生活にも思いを馳せ、身体の健康、心の健康にも留意出来る様確かな知識と見る目を持ち利用者様を支えられる存在になりたいと思います。その為にも職員のレベルアップとチームワークで利用者様がほっとひと息つける空間作りに努めます。本年もよろしくお願ひ致します。



ショートステイそれいゆ

管理者 長瀬 千春

新年明けましておめでとうございます。

ショートステイそれいゆでのコロナウイルス感染拡大防止のため、ご利用者様の面会制限など、皆様にはご協力いただいております。

職員は、県の定めるチェックリストを用い感染防止対策に取り組んでおります。

長めにお預かりしているご利用者・ご家族様が、不安を感じることがないよう、日々の変化を見逃さず、些細なことでもご家族へご連絡を入れるよう心がけています。

ご利用者様に携わる中で、「できない」ではなく「するために」はどうすればいいのか、ケアの方法を見つめ直し、他にもっといい方法があるかを考え、安心・安全で心地いい場所になれるよう取り組んでいきたいと思っています。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



高山市SDGsシンポジウムに参加して ～私なりのSDGs～

病児保育室プティそれいゆ管理者 白田 陽子



病児保育事業の担う社会的な役割としては、親の就労を支援することによる、働く権利の確保、労働力の維持、経済や社会インフラへの寄与などいくつかあげられますが、ジェンダーの平等にも大きく貢献していると考えます。諸外国に比べて日本では、出産育児により社会からいったん離れてしまう女性が多く、ジェンダーギャップの要因の一つだと捉えられています。



女性がその性によって選択肢を狭められることなく能力を発揮できる。そんな社会の実現のため様々な公的な施策が推進される中の一つとして、病児保育事業もその一端を担っています。

とはいえ、働く親たちがみな生き生きと自己実現をかなえられているかというほど遠く、子育て世代を取り巻く様々な課題に直面し、孤独感を抱え、ワークライフバランスの理想とのギャップに葛藤しているのが現状です。

プティそれいゆでは、「相談したい、支えてほしい、なにより育児を楽しみたいと感じたい。」そんな場面での「受け皿」になりたいと、様々な個人、団体とも連携しながら活動をしてきました。

一方私が今、プライベートで最も関心をよせているのが「木育」です。10年間病児保育に携わる中で感じた「心の健康」の問題に、ここで取り組もうとしています。

木育を介した自然体験活動が、自分も他者も、ひいては自然のすべての命を大切にすることを育むと考えます。

不思議とつながるパートナーシップが、双方の活動に活着していると感じます。

子育て支援にも現代人を取り巻く様々な課題にも、その解決には一方向からの取り組みでは決してかなわず、様々な分野で連携することが必要です。

病児保育と木育。一見関係なさそうなこの2つの活動に、重なるゴールがある。

そこから生まれるつながりを課題解決にどう活かすか、これこそが私なりのSDGsなのかもしれない。

これが、今回この機会をいただき、改めて今までの活動を振り返ってみた私の私さの気づきとなりました。



オンライン座談会ははじめました♪

話してほっこりリフレッシュタイム

毎週水曜日 午後13時～40分間

子育て中のお父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃん水曜日の午後のひと時、オンラインで話しませんか？

おうち遊び、すっきりストレッチ！癒しの絵本コーナーなど楽しい企画を用意してお待ちしています♪
お気軽にお申し込みください

お申込みはこちら

byouji@ori-doujinkai.or.jp

*お申込みメールアドレスに招待URLなどお送りします

*住所・氏名・お電話・お子さんの年齢を書いて送信してください

*当日朝10時を過ぎても返信ない場合はお電話ください

病児保育室プティそれいゆ(0577)35-2525

*申込締め切りは前日(火曜日)午後5時です



子育て中でも
職場のスタッフの
フォローしますので
仕事しやすい
環境です

スタッフ大募集



Dr.が
24時間対応
だから夜勤も
安心です

産・育休等、
安心の
福利厚生

パート希望の
方は
ご相談下さい



《募集求人》

- ① 理学療法士（老健施設・訪問看護ステーション）
- ② 看護職（老健施設・デイケア・デイサービス）
- ③ 介護職（老健施設・小規模多機能・有料老人ホーム・訪問介護）

20～70才代まで
幅広い年代が在職し
家族のような
雰囲気です

- 資格／18歳以上（介護職は資格不問）
- 休日／1ヵ月単位の変形労働時間制、年間休日105日
- 時間／シフト制（応相談）
- 社会保険完備、各種手当有り、福利厚生有り
- 給与／当法人の規定による

編集後記

二〇二一年がスタートしました。みなさんは元旦をどのような思いで迎えられたのでしょうか？“Bilore コロナ・With コロナ・After コロナ”と周囲で聞かれない日がないほど、去年は新型コロナウイルスによって世界はパンデミックが引き起こされ、人々のあらゆる活動が大きな影響を受けました。しかし、ピンチをチャンスに“なご前向きな言葉も紡がれ、皆が協力し、様々な工夫やアイデアが現れてきています。まだまだ人の知恵は無限に発揮できる、ということを知ることが証明し続けている証とすれば、元気が湧いてきます。医療法人同仁会でもOS環境を整備し、研修や会議等をオンラインで対応できるシステムの構築を進めています。現場の効率化により、生み出された時間を有効に活用して職員研修の参加機会の創出、利用者さんやご家族の皆さんにより良いケアとご安心を提供させていただき、実践していきまします。これから医療介護サービスの更なる質の向上に努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

